

～精神疾患は三大疾患の一つ～  
こころの健康推進をわが国の基本政策に



こころの健康政策構想実現会議

2010年12月24日 増刊第 3号

## 100万人署名推進ニュース

- 発行人：こころの健康政策構想実現会議
- 連絡先：〒337-0026 埼玉県さいたま市  
見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館  
100万人署名推進委員会  
TEL. 048-680-1891 FAX. 048-680-1894  
E-mail [cocoro-syomei@mbf.nifty.com](mailto:cocoro-syomei@mbf.nifty.com)  
URL <http://www.cocoroseisaku.org/>

◆こころの健康政策構想実現会議の方針、“精神疾患は三大疾患の一つ、こころの健康推進をわが国の基本政策に”を掲げ、100万人署名活動をおこなっている私たちの運動に対し、先の増刊第2号に加えさらに海外の方々から応援メッセージが寄せられました。感謝をこめて増刊第3号としてご紹介させていただきます。また海外の方々との仲介をしていただき、さらに翻訳、校正などご協力いただきました伊勢田堯先生にお礼申し上げます。

(2010年11月1日から12月20日までご賛同いただいた方々をご紹介させていただいております。)



ゲアリー・R・ボンド博士 (Gary R. Bond, Ph.D.)

ダートマス精神医学研究センター(米国ニューハンプシャー州、レバノン)  
精神医学教授

Dear Dr. Iseda,

I strongly support your efforts and those of your colleagues to make community-based services a reality in Japan for clients with severe mental illness, by promoting evidence-based practices, such as assertive community treatment and supported employment. The Japanese mental health system lags behind most industrialized nations by maintaining a hospital-based system of care that neither cost-effective or recovery-oriented.

Regards,

Gary R. Bond, Ph.D.  
Professor of Psychiatry  
Dartmouth Psychiatric Research Center  
Lebanon, NH, USA

伊勢田先生

私は、積極的域治療(ACT)、援助付き就労支援等のエビデンスに基づく治療を推進することにより、重度の精神疾患を抱えた人々のために、日本で地域社会ベースの治療を実現しようというあなたとその仲間の取組みを強く支持します。日本の精神医療システムは、コスト効率が低く、回復に重点を置かない病院中心の治療を続けることにより、大半の先進工業国に遅れを取っています。

ゲアリー・R・ボンド博士  
ダートマス精神医学研究センター(米国ニューハンプシャー州、レバノン)  
精神医学教授

訳者による紹介: 米国における地域ケアの開発の理論的実践的権威者の一人。ACT および援助付き就労支援の専門家。





**キース・フォスター博士 (Dr. Keith Foster)**

イングランド国立精神保健開発機構、福祉・公衆精神衛生プログラム  
自殺対策担当プログラム・スペシャリスト

The progress in modernising mental health services in Japan is very encouraging news. The move towards more care being provided in the community will have many positive benefits for the Japanese Mental Health Care System and will be well liked by patients allowing them to remain in familiar circumstances at a difficult time for them.

Keith Foster  
Programme Specialist - Suicide Prevention  
Well-Being and Population Mental Health Programme  
National Mental Health Development Unit (NMHDU)

日本で精神医療サービスの近代化が進んでいるということは、非常に明るいニュースです。地域社会での治療をより重視しようという動きは、日本の精神医療システムに多くの利益をもたらすとともに、困難な時期に馴染みのある環境に身を置くことができるようになる患者によっても大いに歓迎されることでしょう。

キース・フォスター  
イングランド国立精神保健開発機構、福祉・公衆精神衛生プログラム  
自殺対策担当プログラム・スペシャリスト

訳者による紹介: 成功裏に進行しているイギリスの自殺対策の責任者。「自殺大国」日本について心から心配し、惜しみない支援を提供してくれています。



**リチャード・ライランダー医師 (Dr. Richard Rylander)**

形成外科医

Dear Takashi,

We were glad to hear you are corresponding with Dr Silferhielm and other Swedish colleagues. Interesting the work that you are doing. Having known you for such a long time now we know you put a lot of hard work into the projects that you take on and your results are no doubt in accordance with that.

We would like to congratulate you on your recent challenge. Although my wife and I are in other medical professions, and not psychiatrists, we hope you will successfully develop community-based mental health service.

Richard  
Dr. Richard Rylander  
Stockholm, Sweden

堯

シルファフィルム先生や他のスウェーデンの同僚(訳者注:スウェーデン保健福祉庁精神保健部責任者)とやり取りをされているとのこと、嬉しく思います。あなたの取組みを興味深く思っています。長年の付き合いになりますが、これまでの努力がプロジェクトに結実し、努力に見合う結果を得られるものと確信しています。

近年の取組みについても祝福したいと思います。妻も私も精神科医ではなく、医師としての専門分野は異なりますが、地域社会をベースとした精神医療サービスの構築に成功されることを願っています。

リチャード・ライランダー医師  
形成外科医 スウェーデン、ストックホルム

訳者による紹介:ライランダー医師は形成外科医で、お父さんがカロリンスカ大学司法精神医学初代教授であったことから、スウェーデンの精神医療関係者に知人が多く、長年訳者らに紹介の労を取ってくれている。奥様は産婦人科医。ご夫婦で日本の精神医療改革を支援してくれています。



**ジェフ・シェパード教授 (Professor Geoff Shepherd)**

ロンドン精神医療センター、シニア・ポリシー・アドバイザー  
ロンドン大学精神医学研究所、公衆衛生サービス研究科、客員教授

MHPCI 'One Million Signature' campaign

I am delighted to give my whole-hearted support to this campaign for the reform of mental health services in Japan. Japan is a rich and modern country which has led the world with many technological innovations and examples of highly sophisticated business practices. Now it needs to make the same changes with regard to services for the care of people with mental health problems and their families. Most countries in the developed world now have community-based systems with specialised, multi-professional teams providing care where it is needed, when it is needed and for as long as it is needed. This avoids the situation where treatment itself can become a barrier to people recovering and taking up their lives again. Of course, inpatient beds are still used when required, but around the world modern research has shown these new services can prevent many people from being admitted to hospital unnecessarily, staying too long, or receiving inadequate follow-up when they leave. Some of the most important innovations now concern 'early intervention' teams, aimed at helping young people who are experiencing their first major episode of psychiatric illness to recover as quickly as possible and helping them directly to pick up their lives again. Research on the cost-effectiveness of these community-based approaches has repeatedly shown them to be more effective and less costly compared with traditional hospital-based care. I therefore wish my colleagues in Japan every success in their important work. Mental health services in Japan must surely change very soon, let us make it now.

Professor Geoff Shepherd  
Senior Policy Adviser,  
The Centre for Mental Health, London & Visiting Professor, Department of Population and Health Services Research, Institute of Psychiatry, University of London

こころの健康政策構想実現会議の 100 万人署名運動に寄せて

日本の精神医療改革に向けた署名運動を全面的に支援します。日本は豊かな近代国家であり、多くの技術革新や非常に優れたビジネスで世界をリードしてきました。今日求められているのは、精神疾患を抱えた人々やその家族のための医療サービスについても、同様の改革を行うことです。現在、大半の先進国では、多職種からなる専門チームを活用した地域社会ベースのシステムを導入しており、必要な場所で、必要な時に、そして必要とされる期間、治療を行える体制となっています。この体制により、回復し自分の生活を再開しようとしている人々にとって、治療そのものが妨げとなるような事態を避けることができます。当然ながら入院患者用の病床も未だに必要に応じて利用されていますが、世界各地で行われた最近の研究から証明されたとおり、この新たなサービスにより、多くの人々が不必要に入院させられ、必要以上に長く入院生活を送り、退院後に不適切な治療が継続されるという状況を回避することができるのです。現在の最も重要な革新された事項の中に、「早期介入」チームに関するものがあります。早期介入チームとは、本格的な精神疾患を発症したばかりの若者が出来るだけ早期に回復することを支援し、彼らが元の生活を取り戻せるように直接的に支援することを目的とするものです。こうした地域社会ベースの治療方法は、その費用対効果に関する研究により繰り返し証明されているように、従来型の病院ベースの治療よりも効果的で、コストもかかりません。よって私は、日本の仲間達の重要な取組みが真に成功するように願っています。日本の精神医療は早急に本当に変わらなければなりません。直ちに改革を実現しましょう。

ジェフ・シェパード教授  
ロンドン精神医療センター、シニア・ポリシー・アドバイザー  
ロンドン大学精神医学研究所、公衆衛生サービス研究科、客員教授

訳者による紹介：精神保健の国際的権威。近年は、リカバリー理念、援助付き就労支援、刑務所における精神保健サービス、政策提言に従事。これまで3度の来日経験があり、2011年2月来日予定。